

ラ抜き市民権へファイル No.38

「能動詞」の存在です。

先程、五段活用の動詞にはレルを付けて可能を表すといいました。

例えば「行く」は五段活用の動詞です。古くは、その未然形にレルを付け「行かれる」が正しい可能の意味でした。今では「行かれる」などとはいいません。「行ける」が普通で、これが可能動詞。すでに室町時代には「行ける」が使われていました。「作れる」「泳げる」も可能動詞でラ抜きではありません。

◎世代差

ラ抜き言葉は若者が使うことが多く、年配者が眉をしかめます。年配者は「文法的に間違っている」というわけでもなく、ただ、ラ抜き言葉に違和感を抱いているだけかもしれません。ラ抜き言葉は世代間の問題でもあるのです。

たしかに「入れれる」などといった気持ちが悪い可能表現はあるものの、ラ抜きは今後、定着すると考えられます。多くの文法学者が肯定的です。否定する文法学者は抵抗勢力といわれるようになるかもしれません。個人の美意識の問題でもありません。「ラ抜き言葉は絶対使わない」という人もいていいと考えます。今はラ抜きの過渡期なのです。

「見る」「来る」は五段活用の動詞ではないので、可能を表すならば「見られる」「来られる」が正解。「見れる」「来れる」がラ抜きです。これで決着すれば苦労はないのですが、事情はもっと複雑です。問題を複雑にしている要因が「可

能動詞」の存在です。

先程、五段活用の動詞にはレルを付けて可能を表すといいました。

例えば「行く」は五段活用の動詞です。古くは、その未然形にレルを付け「行かれる」が正しい可能の意味でした。今では「行かれる」などとはいいません。「行ける」が普通で、これが可能動詞。すでに室町時代には「行ける」が使われていました。「作れる」「泳げる」も可能動詞でラ抜きではありません。

「見る」「来る」は五段活用の動詞ではないので、可能を表すならば「見られる」「来られる」が正解。「見れる」「来れる」がラ抜きです。これで決着すれば苦労はないのですが、事情はもっと複雑です。問題を複雑にしている要因が「可

能動詞」の存在です。

先程、五段活用の動詞にはレルを付けて可能を表すといいました。

例えば「行く」は五段活用の動詞です。古くは、その未然形にレルを付け「行かれる」が正しい可能の意味でした。今では「行かれる」などとはいいません。「行ける」が普通で、これが可能動詞。すでに室町時代には「行ける」が使われていました。「作れる」「泳げる」も可能動詞でラ抜きではありません。

「見る」「来る」は五段活用の動詞ではないので、可能を表すならば「見られる」「来られる」が正解。「見れる」「来れる」がラ抜きです。これで決着すれば苦労はないのですが、事情はもっと複雑です。問題を複雑にしている要因が「可

能動詞」の存在です。

先程、五段活用の動詞にはレルを付けて可能を表すといいました。

例えば「行く」は五段活用の動詞です。古くは、その未然形にレルを付け「行かれる」が正しい可能の意味でした。今では「行かれる」などとはいいません。「行ける」が普通で、これが可能動詞。すでに室町時代には「行ける」が使われていました。「作れる」「泳げる」も可能動詞でラ抜きではありません。

「見る」「来る」は五段活用の動詞ではないので、可能を表すならば「見られる」「来られる」が正解。「見れる」「来れる」がラ抜きです。これで決着すれば苦労はないのですが、事情はもっと複雑です。問題を複雑にしている要因が「可

能動詞」の存在です。

きなじやないか、と指摘したのです。混同を避けることができるので、ラ抜きを許容しようという文法学者もいます。それどころか、積極的にラ抜きを肯定する文法学者も増えていきます。

ラ抜きを文字でなく音から見ると、面白いことが分かります。「食べられる」を例にして、ローマ字で音を見てみましょう。

T A B E E R A R E R U

T A B E E R U R U

文字では「ラ」の文字が抜けてラ抜きですが、音でみるとARの二文字が抜けています。話すという視点、音からみれば、ラ抜きではなくAR抜きなのです。

◎世代差

ラ抜き言葉は若者が使うことが多く、年配者が眉をしかめます。年配者は「文法的に間違っている」というわけでもなく、ただ、ラ抜き言葉に違和感を抱いているだけかもしれません。ラ抜き言葉は世代間の問題でもあるのです。

たしかに「入れれる」などといった気持ちが悪い可能表現はあるものの、ラ抜きは今後、定着すると考えられます。多くの文法学者が肯定的です。否定する文法学者は抵抗勢力といわれるようになるかもしれません。個人の美意識の問題でもありません。「ラ抜き言葉は絶対使わない」という人もいていいと考えます。今はラ抜きの過渡期なのです。

「見る」「来る」は五段活用の動詞ではないので、可能を表すならば「見られる」「来られる」が正解。「見れる」「来れる」がラ抜きです。これで決着すれば苦労はないのですが、事情はもっと複雑です。問題を複雑にしている要因が「可

能動詞」の存在です。

先程、五段活用の動詞にはレルを付けて可能を表すといいました。

例えば「行く」は五段活用の動詞です。古くは、その未然形にレルを付け「行かれる」が正しい可能の意味でした。今では「行かれる」などとはいいません。「行ける」が普通で、これが可能動詞。すでに室町時代には「行ける」が使われていました。「作れる」「泳げる」も可能動詞でラ抜きではありません。

「見る」「来る」は五段活用の動詞ではないので、可能を表すならば「見られる」「来られる」が正解。「見れる」「来れる」がラ抜きです。これで決着すれば苦労はないのですが、事情はもっと複雑です。問題を複雑にしている要因が「可

能動詞」の存在です。

先程、五段活用の動詞にはレルを付けて可能を表すといいました。

例えば「行く」は五段活用の動詞です。古くは、その未然形にレルを付け「行かれる」が正しい可能の意味でした。今では「行かれる」などとはいいません。「行ける」が普通で、これが可能動詞。すでに室町時代には「行ける」が使われていました。「作れる」「泳げる」も可能動詞でラ抜きではありません。

「見る」「来る」は五段活用の動詞ではないので、可能を表すならば「見られる」「来られる」が正解。「見れる」「来れる」がラ抜きです。これで決着すれば苦労はないのですが、事情はもっと複雑です。問題を複雑にしている要因が「可

能動詞」の存在です。

先程、五段活用の動詞にはレルを付けて可能を表すといいました。

例えば「行く」は五段活用の動詞です。古くは、その未然形にレルを付け「行かれる」が正しい可能の意味でした。今では「行かれる」などとはいいません。「行ける」が普通で、これが可能動詞。すでに室町時代には「行ける」が使われていました。「作れる」「泳げる」も可能動詞でラ抜きではありません。

「見る」「来る」は五段活用の動詞ではないので、可能を表すならば「見られる」「来られる」が正解。「見れる」「来れる」がラ抜きです。これで決着すれば苦労はないのですが、事情はもっと複雑です。問題を複雑にしている要因が「可

能動詞」の存在です。

ガラストップ ガスコンロ販売中!

オートグリル機能付

魚の形状・焼加減を設定すると、自動で魚を焼き上げます。



台数限定!

60cm PA-A61WCV(R/L)

定価:96,984円(税込)

現金特価 57,800円

7年※2 リース 月々 800円 (税込)

※1 販売は1年メーカー保証付

※2 リースは7年間メーカー保証付

健康ライフ  
100%  
薬の保管②  
年1回の薬箱整理

薬は、幼児の手が届かないところに保管するのはもちろんですが、服用するため出しておいた時に注意してください。目を離れた際に口にしてしまうこともあります。

年に一度、薬箱の整理をしましょう。どんな薬が入っているのか、使用期限が過ぎていないかなどを確認してください。使用期限が過ぎていたら未使用でも処分します。使用期限内でも、見た目に変化があれば処分します。処方された薬は、袋に使用期限が書かれています。飲みきるのが原則ですが、残った薬は処分してください(症状の出たときだけ飲むよう指示がある薬は、この限りではありません)。使用期限の目安は、錠剤・カプセル・坐薬軟膏は6〜12カ月、粉薬顆粒は3〜6カ月。

★ヘルシーおから入り肉みそ★

〈材料〉ミンチ肉300g、玉ねぎ小1個、おから50g、しょうが1かけ、ごま油大1、しょうゆ小1、みそ20g、砂糖大1、水溶き片栗粉少々、あればオイスターソース少々

- ①ミンチ肉は湯通して余分な脂を抜く。玉ねぎ、しょうがは、みじん切り。
- ②おからを①に混ぜて調味料で味付け、水溶き片栗粉でトロミをつけ出来上がり。甘辛く仕上げると美味しい。豆腐や野菜など、なにかけて食べても美味しくヘルシー。もちろん、そのままでも。常備食に最適。

わが家の自慢料理

高松市

林二美様



「わが家の自慢料理」にふるってご応募くださるよう、お願いします。採用された方には図書券をプレゼントします。